

平成21年度特別会計・水道事業会計予算

特定健診、特定保健指導各種健康事業等実施

平成21年度予算を、文教厚生常任委員会で構成する第2予算審査特別委員会を設置して審議しました。慎重に審議した結果、予算を可決しました。



ウォーキング教室踏台昇降



健康をチェック運動

平成21年度特別会計・水道事業会計予算の一覧表

会計名		予算額	前年対比	主な内容	
特別会計	国民健康保険	15億168万円	4万5千円(0.003%)	歳出 保険給付費 10億2690万円 後期高齢者支援金 1億6454万9千円	
	老人保健	2701万円	△2億9726万4千円(△91.7%)	歳出 医療諸費 2650万円	
	後期高齢者(長寿)医療	1億1840万9千円	△2245万9千円(△15.9%)	歳入 後期高齢者医療保険料 7166万8千円 一般会計繰入金 4400万9千円 歳出 後期高齢者医療広域連合納付金 1億1431万9千円	
水道事業会計	収益的	収入	2億1059万4千円	△527万1千円(△2.4%)	給水収益 2億842万円
		支出	2億88万3千円	698万3千円(3.6%)	水道企業団への受水費 7627万9千円
	資本的	収入	302万円	△5370万円(△94.7%)	加入者負担金 252万円
		支出	171万2千円	△6273万円(△97.3%)	配水設備改良費(消火栓の工事) 130万円

第2予算審査特別委員会 (文教厚生常任委員会)

審査報告(概要)

委員長 牟田口 美智子
副委員長 中島 和正
委員 西田 勉
眞崎 萬次
徳永 豊

国民健康保険

医療費増の対策として、今後とも健康づくり事業の充実及びレセプト点検の強化等により、層努力をされたい。

■ 収納対策として、税務係と医療係の合同での滞納徴収の実施や、滞納世帯への短期保険証の発行がなされており、保険証の交付を庁舎窓口とし納税相談を実施し、分納により税を徴収している。納税義務の公平性からして、さらに徴収に鋭意努力されたい。

老人保健

■ 医療諸費は、平成20年3月以前の老人医療費の精算分の支出となる。

後期高齢者医療

■ 後期高齢者医療保険料で、前年度に比べ保険料全体の減収は、昨年から実施された保険料の特別軽減に伴うものが主な要因となっている。

水道事業

■ 西部配水場の現地見学を行った。西部配水場の完成で既存施設の取り扱いが課題となっている。今後とも万一の事故の無いよう万全の対策を講じ、水道水の安定供給に努められたい。